



# 昭和大学病院

## クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔病院歯科〕

### 指標名

周術期の口腔機能管理実施率

### 目標・ゴール

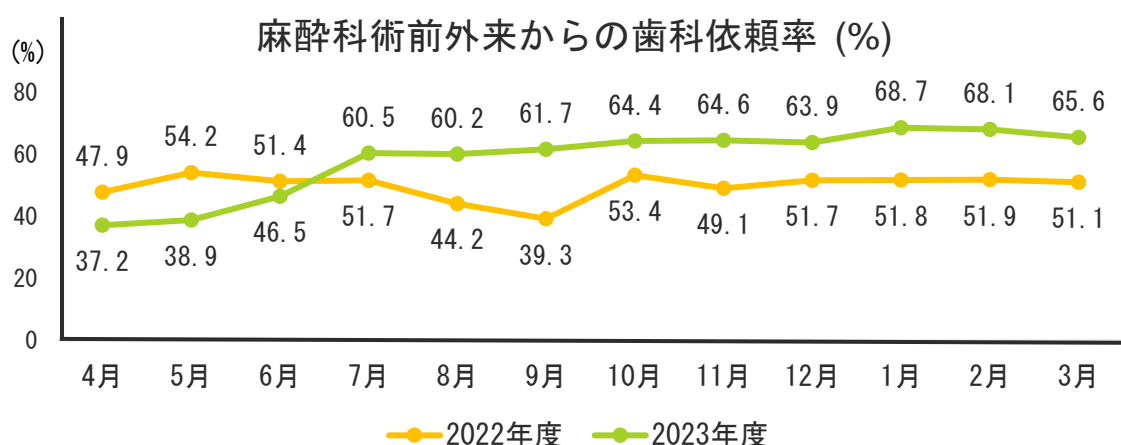
周術期の口腔機能管理実施率 50%

### 目標・ゴール達成による効果

周術期に口腔機能管理を行うことは、術後肺炎、人工呼吸器関連肺炎、口腔粘膜炎、GVHD(移植片対宿主病)などの合併症予防、疾患の早期治癒、早期離床の支持療法となる。しいては、患者さんのQOL向上、治療成績向上、医療費削減、健康寿命の延伸につながる。

### 目標・ゴールに対する成果の状況

〔成果〕 周術期の口腔機能管理実施率 58.4%



#### 2023 年度

麻酔科術前外来からの歯科依頼件数 : 3751 件

麻酔科術前外来件数 : 6421 件

全身麻酔件数 : 6527 件

## 目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

- S :大幅に目標を上回った
- A<sup>+</sup>:目標を多少上回って達成
- A :目標を達成
- B<sup>+</sup>:目標を少し下回った
- B :目標を下回った
- C :目標を大幅に下回った
- :外的要因により継続困難となった。

## 目標・ゴールの課題・改善策

病院歯科は、医師からの依頼に基づき、医科疾患の支持療法として入院患者さんの歯科治療を行っている。

麻酔科術前外来、各診療科からの依頼数は、周術期の口腔機能管理実施率に比例する。目標達成および向上のためには、周術期外来運用検討委員会の定期開催による多職種との情報共有と更なる医科歯科連携が必要と考える。